

各 位

上 場 会 社 名 四国電力株式会社
 代 表 者 取締役社長 社長執行役員 長井 啓介
 (コード番号 9507、東証市場第一部)
 問 合 せ 先 経理部 管理グループリーダー 行本 亮児
 (TEL 087-821-5061)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

2021年4月28日に公表した2022年3月期通期の連結業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

● 連結業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	550,000	18,500	18,000	13,000	63.00
今回修正予想 (B)	580,000	6,500	6,000	4,500	22.00
増 減 額 (B - A)	30,000	△ 12,000	△ 12,000	△ 8,500	
増 減 率 (%)	5.5	△ 64.9	△ 66.7	△ 65.4	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	719,231	6,456	5,188	2,999	14.58

修正の理由及び通期連結業績予想に関する定性的情報

(修正の理由)

燃料価格高騰に伴い、燃料費調整額の増を大幅に上回る需給関連費の増加が見込まれることなどから、上記のとおり修正いたします。

なお、期末配当予想については、4月公表(1株当たり15円)から変更はありません。(年間配当は中間配当と合わせて30円)

(通期連結業績予想に関する定性的情報)

売上高は、燃料費調整額の増などにより、前回公表値に比べ300億円増加の5,800億円と予想しています。

利益については、燃料価格高騰に伴い需給関連収支が悪化することから、前回公表値に比べ、営業利益は120億円悪化の65億円、経常利益は120億円悪化の60億円、親会社株主に帰属する当期純利益は85億円悪化の45億円と予想しています。

なお、当期の収支悪化要因のうち、燃料価格高騰に伴う燃料費調整額の2022年度への期ずれ影響は、140億円を見込んでいます。

※ 業績予想数値を算出する際に使用した前提諸元につきましては、別紙をご参照ください。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上

[前提諸元(通期)]

(億 kWh)

		今回修正 (A)	前回公表 (B)	増減 (A-B)
小売販売	電 灯	78.1	78.3	△0.2
	電 力	142.2	140.5	1.7
	計	220.3	218.7	1.6
卸 販 売		83.3	75.1	8.2
総販売電力量		303.6	293.8	9.8

		今回修正 (A)	前回公表 (B)	増減 (A-B)
石 炭	C I F (\$/t)	147	95	52
原 油	C I F (\$/b)	70	65	5
為 替	レ ー ト (円/\$)	110	110	-